



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 マイクロアド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 渡辺 健太郎
(コード番号：9553 東証グロース)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 福田 裕也
(TEL.050-1753-0440)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年11月14日に公表しました2026年9月期通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2026年9月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,444	815	761	663	24円26銭
今回修正予想 (B)	17,788	1,024	952	678	24円72銭
増減額 (B-A)	344	209	190	14	
増減率 (%)	2.0	25.7	25.0	2.2	
(参考) 前期実績 (2025年9月期)	15,670	613	531	195	7円10銭

(2) 通期連結業績予想修正の理由

当社グループの事業はデータプラットフォーム事業の単一セグメントであります。セグメントを構成する主要なサービスとして、データプロダクトサービス、コンサルティングサービスの2つのサービスによって事業展開しております。

データプロダクトサービスは、データプラットフォームである「UNIVERSE」を中心としたさまざまなマーケティングプロダクトを提供しております。自社開発の広告プラットフォームによるUNIVERSEのデータ活用に加え、2026年9月期より新たに他社の大手SNSや大手動画プラットフォームなどの「他社プラットフォーム」へUNIVERSEのデータ接続を開始いたしました。この取り組みによって、UNIVERSEのデータ利用範囲が拡大し、より多くの顧客のマーケティングニーズに応えることが可能になることで、さらなる収益の拡大が見込まれます。また、生成AI等を活用した業務効率化や業務削減を実施することで営業効率を高め、様々な原価削減施策を実施したことで前期比では利益率が向上しました。以上から、データプロダクトサービスの2026年9月期の売上高は従来予想102.1億円に対して107.3億円(差額：

+5.1億円 / 比率：+5.1%)、売上総利益は従来予想36.2億円に対して36.8億円（差額：+0.6億円 / 比率：+1.8%）という見通しとなっております。

コンサルティングサービスは、国内のメディア向けコンサルティングと、台湾支社を中心とした海外コンサルティングが属しております。メディア向けコンサルティングにおいては、サービス品質の向上によって、売上高・売上総利益ともに従来予想を上回って推移しております。海外コンサルティングにおいては、訪日観光客の増加に伴いインバウンドマーケティングの需要が拡大したことと、新規事業である(株)IPmixerによるコラボレーション商品の販売が好調に進み上半期においては売上高・売上総利益ともに従来予想を上回って推移しております。一方で、インバウンドマーケティングの需要増加に伴い、日本本社と海外支社におけるグループ内取引が拡大していることから、下半期の売上高の見通しを保守的に下方修正いたしました。

以上から、コンサルティングサービスの2026年9月期の売上高は従来予想72.2億円に対して70.5億円（差額：-1.7億円 / 比率：-2.4%）、売上総利益は従来予想18.4億円に対して21.0億円（差額：+2.5億円 / 比率：+13.8%）という見通しとなっております。

以上の各サービスにおける売上総利益の増加によって連結業績における営業利益は従来予想8.1億円に対して10.2億円（差額：+2.0億円 / 比率：+25.7%）という見通しとなっております。営業利益の増加によって親会社に帰属する当期純利益は従来予想6.6億円に対して6.7億円（差額：+0.1億円 / 比率：+2.2%）となっております。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上